

日本社会学史学会奨励賞

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>2000年度 (2000年大会表彰)</p> | <p>第1回受賞者 出口剛司 (東京大学)</p> <p>受賞対象研究 「二つの文化社会学のはざままで—社会学の精神分析経験—」 『状況1999年6月号』 論文 状況出版 1999年</p> |
| <p>2001年度 (2001年大会表彰)</p> | <p>第2回受賞者 挾本佳代 (法政大学)</p> <p>受賞対象研究 『社会システム論と自然』 法政大学出版局 単著 2000年4月</p> |
| <p>2002年度 (2002年大会表彰)</p> | <p>第3回受賞者 森川剛光 (日本学術振興会)</p> <p>受賞対象論文 「行為・世界および科学」 (独文) 2001年</p> |
| <p>2003年度 (2003年大会表彰)</p> | <p>第4回受賞者 竹中克久 (日本学術振興会)</p> <p>受賞対象研究 「組織文化論から組織シンボリズムへ—<シンボルとしての組織>—概念の提唱—」 『社会学評論Vol.210』 論文 2002年</p> |
| <p>2004年度 (2004年大会表彰)</p> | <p>第5回受賞者 保坂 稔 (日本学術振興会)</p> <p>受賞対象研究 『現代社会と権威主義—フランクフルト学派権威論の再構成—』 東信堂 単著 2003年12月</p> |
| <p>2005年度 (2005年大会表彰)</p> | <p>第6回受賞者 巻口勇一郎 (常葉学園大学)</p> <p>受賞対象研究 『デュルケム理論と法社会学—社会病理と宗教、道徳、法の相互作用—』 信山社 単著 2004年5月</p> |
| | <p>第6回受賞者 菊谷和宏 (和歌山大学)</p> <p>受賞対象研究 『トクヴィルとデュルケム—社会学的人間観と生の意味—』 東信堂 単著 2005年3月</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| 2006年度 | 該当者なし |
| 2007年度 (2007年度大会 表彰) | 第7回受賞者 山田陽子 (神戸大学) 受賞対象研究 『「心」をめぐる和のグローバル化と自立的個人像 —「心」の聖化とマネジメント—』 学文社 単著 2007年1月20日発行 |
| 2008年度 (2008年度大会 表彰) | 第8回受賞者 清水強志 (専修大学) 受賞対象研究 『デュルケームの認識論』 恒星社厚生閣 単著 2007年3月16日発行 |
| | 第8回受賞者 犬飼裕一 (北海学園大学) 受賞対象研究 『マックス・ウェーバーにおける歴史科学の展開』 ミネルヴァ書房 単著 2007年3月10日発行 |
| 2009年度 | 該当者なし |
| 2010年度 | |
| 2011年度 | |
| 2012年度 (2012年度大会 表彰) | 第9回受賞者 清水晋作 (盛岡大学) 受賞対象研究 『公共知識人 ダニエル・ベル—新保守主義とアメリカ社会 学—』 勁草書房 単著 2011年3月30日発行 |
| 2013年度 | 第10回受賞者 恒木健太郎 (日本学術振興会特別研究員) 受賞対象研究 『「思想」としての大塚史学—戦後啓蒙と日本現代史—』 新泉社 単著 2013年3月28日発行 |
| 2014年度 | 第11回受賞者 多田光宏 (熊本大学) 受賞対象研究 『社会的世界の時間構成—社会学的現象学としての社会シ ステム理論—』 ハーベスト社 単著 2013年12月27日発行 |
| 2015年度 | 該当者なし |
| 2016年度 | |
| 2017年度 | 第12回受賞者 濱西栄司 (ノートルダム清心女子大学) |

| | |
|--------|--|
| | 受賞対象研究 『トゥレーヌ社会学と新しい社会運動理論』 新泉社 単著 2017年7月11日発行 |
| 2018年度 | 該当者なし |
| 2019年度 | |
| 2020年度 | 第13回受賞者 流王貴義 会員 受賞対象研究 『デュルケムの近代社会構想—有機的連帯から職能団体へ』 (単著、ミネルヴァ書房、2019年3月31日発行) |
| 2021年度 | 第14回受賞者 磯 直樹 会員 受賞対象研究 『認識と反省性—ピエール・ブルデューの社会学的思考—』 (単著、法政大学出版局、2020年発行) |